

4月の邦人被害

当館及び在ラスパルマス領事事務所管轄内で確認された先月の邦人被害は次のとおりです。類似の被害に遭わないよう、引き続き十分な注意をお願いいたします。

(マドリード)

4月1日(金) : スリ

午後、男性旅行者が、地下鉄でモンクロア駅からソル駅経由でアトーチャ駅へ移動した際、気付かない間にボディバッグのファスナを開けられ、旅券等の入った財布を抜き取られた。

4月1日(金) : 置き引き

午後8時頃、女性在留邦人が、市内ホテルのロビーで、ソファに置いた鞆を知人に託し、一時的に離れた隙に置き引きされた。

4月9日(土) : スリ

午後7時頃、男性旅行者が、ツアー団体と共にアルグエジェス地区のレストランへ移動中、気付かない間に、旅券等の入った小物入れを盗まれた。

4月18日(月) : スリ

午後11時頃、女性旅行者が、地下鉄でバラハス空港駅からアロンソ・マルティネス駅へ移動した際、気付かない間に、鞆から旅券等の入った財布を抜き取られた。

4月29日(金) : スリ

午後3時頃、女性旅行者が、グラン・ビア付近を観光中、気付かない間にポケットから携帯電話を抜き取られた。

(ロンダ)

4月10日(日) : スリ

午後2時半頃、女性旅行者が、観光中、気付かない間に鞆のファスナを開けられ、旅券等の入った小物入れを抜き取られた。

(セビリヤ)

4月24日(日) : 強盗

午後4時頃、女性在留邦人が、エスピリトゥ・サント通りを徒歩移動中、自転車ですれ違った男から突き飛ばされた後、ナイフを振り回され、鞆を強奪された。